

# 新型インフルエンザ対策には万全を

4月30日、西澤議員が町に緊急に要請した内容を紹介します。大橋久和保健福祉課長が対応しました。大橋課長は、「要請の通りです」と答えた上で、本日(30日)付で相談窓口を設置したこと、5月1日は注意を呼びかけるチラシを緊急に配布すること、全職員が対応できるよう徹底すること を明らかにしました。

2009年4月30日

甲良町長 山崎義勝 様

町議会議員 西澤伸明

## 新型インフルエンザ対策についての要請(要旨)

本日朝の報道によると、新型インフルエンザの感染者が10ヶ国に広がり、世界保健機関(WHO)が新型インフルエンザの警戒レベルをフェーズ4から5に引き上げることを見定めました。チャン事務局長は、その中で「人類は迫りくる最大の脅威に備えなければならない」と警戒を呼びかけました。

日本政府は水際対策を強化する方向と伝えられていますが、国民・町民の間には徐々に不安が広がりつつあります。

本町でも可能なあらゆる方法で、感染の未然防止と最悪の事態に備えて被害者救済と被害の拡大を防ぐ準備を怠りなくすすめることが求められているのではないのでしょうか。

日本共産党としても、28日に市田忠義書記局長を本部長として「新型インフルエンザ対策委員会」を設置し、「英知を集めて、国会論戦や調査活動で積極的な役割を果たしていきたい」(市田書記局長)としています。

私たちは、この危機にあたり「一人の犠牲者も出さない」立場で対応することが最も重要だと考えます。

現時点で以下の項目を要請します。

- 1、政府に対して正確で的確な情報を国民に提供・説明するよう要請されること。国民への感染拡大を未然に防止する取り組みに万全を期すよう要請されること。
- 2、日常生活での予防対策や「発熱外来」の詳しい方法など、新型インフルエンザに関する情報を速やかに町民に知らせ、県および近隣の市町とも連携しながら、住民への感染を未然に防ぐ取り組みを強化されること。

以上